

2026 年度

愛知学院大学大学院

心身科学研究科

心理学専攻

一般入学試験問題

解答および解答例・出題の意図

博士前期課程 秋季入学試験

(2025年10月4日実施)

臨床心理学コース

【外国語】

英語

1

〈解答例及び出題意図〉

問1 下線1)を適切な日本語に訳しなさい。

**解答例** 学習性無力感

**出題の意図** 「learned helplessness」を適切な専門用語として理解しているか。

問2 下線2)はどのような状態のことをいうか説明しなさい。

**解答例**

これらの状態 (Apathy・Depression) では、感情反応 (喜びや怒りなどの感情の振れ幅) の低下、意欲の低下、ものごとへの興味関心の喪失、動機づけの低下、外的な刺激 (周囲の出来事) への反応の鈍化、持続的な悲しみや絶望感などが生じることがある。特に、Depression の背景では自己評価や自尊心の低下、身体症状 (睡眠障害、食欲の低下や過食、易疲労感など) が生じることが多い。脆弱性要因としては「認知の歪み (物事を否定的に捉えやすくなる特性や状態)」が指摘されている。(記載の程度に応じて部分点を与える)

**出題の意図**

日常的知識ではなく、臨床心理学的な理解として Apathy(無気力)や Depression(抑うつ)を説明できるか。

問3. 下線3)の手続きを具体的に説明しなさい。

**解答例**

仕切りによって二つの区画に分かれているシャトルボックス (片側の区画の床から足に軽い電気ショックが流れる) が用意され犬が入れられる。床が通電される数秒前にライトが点灯すると、犬はそれを合図に安全な区画へ跳んで回避することを学習する。もし過去のある時点において、何をしてもショックを回避できない別の囲いに閉じ込められた経験があると、新しいシャトルボックスでショックを回避できるにもかかわらず、電気刺激に対してただ横たわり無力感の兆候を示すのみとなる。(記載の程度に応じて部分点を与え

る)

#### 出題の意図

「学習性無力感」実験の具体的な設定を理解しその意味を正しく解釈しているか。

問4. 下線4)について、そのようなことが起こる理由を説明しなさい。

#### 解答例

過去において学習された無気力や抑うつ感は消去されにくく、通常は痛みを回避できるような新しい状況においても回避行動の学習は容易に起こらない（行動は改善しにくい）ため。

#### 出題の意図

無気力や抑うつが学習によって獲得されること（あるいは、消去が簡単に起こらないこと）を理解し適切に説明できるか。

問5. 下線5)の内容を“人の日常生活”にあてはめると、どのような例が考えられるか述べてなさい。

#### 解答例

幼少期において乗り越え難い経験（何をしても状況が改善されない経験）をすると、その後、自分から状況を打開しようとしなくなる可能性がある。動物だけでなく人間においても学習性の無気力や抑うつが十分に起こりうると考えられる。（記載の程度に応じて部分点を与える）

#### 出題の意図

抑うつに関わる現象が動物実験で明らかにされているが、さらに人の日常生活にもそれが十分に起こりうることを理解しているか。

〈出典情報〉

出版社：Cengage Learning EMEA

著者名：Nolen-Hoeksema, Fredrickson, Loftus, and Wagenaar

タイトル：Stress, Health, and Coping, Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology, 15th edition

2

〈解答例及び出題意図〉

#### 出題意図

代表的な発達心理学者であるエリクソンの心理社会的発達理論について英語で理解した上で、それぞれの問に対して正しく回答できているか。

### 解答または解答例

問 1. 下線①に入ると思われる人物の名前と提示した理論の名前を書きなさい（人物の名前はカタカナでも良い）。

解答例 エリクソン

問 2. 下線②を適切な日本語に訳しなさい。

解答例 彼は、幼少期を含む発達のあるゆる段階は、人生全体を視野に入れなければ研究できないと主張した

問 3. 問題文の中で下線①の人物の発達心理学への貢献はどのようなものであったと述べられているか答えなさい。

解答例 子どもの発達はその社会的環境の文脈の外では理解できないという認識にあり、しかもその社会的環境は自らの発達課題に直面している大人たちによって形づくられている、という点であった。

問 4. 下線④の "psychosocial tasks" に関連して、成人期前期のものとして挙げられているものを抜き出しなさい。

解答例 intimacy' versus and 'isolation'

問 5. 下線①の人物が特に有名になった概念を英語で書き、意味を説明しなさい。

解答例

概念：Identity Crisis（アイデンティティの危機）

意味：青年期において自分は誰か、自分の将来の方向性は何かといった「自我同一性」の確立に直面し、混乱や葛藤を経験すること

〈出典情報〉

出版社：Routledge

著者名：Coleman, P. G. & O'Hanlon

タイトル：Ageing and Development

## 春季入学試験

(2026年1月24日実施)

【外国語】

英語

1

〈出題の意図〉

臨床臨心理学領域において、メンタルヘル스에 ネガティブな影響を与えるとされる否定的な思考・感情について英語で書かれた文章を正しく理解し、各設問に適切に回答できているか。また、論じられている内容と自身の体験とを関連させながら、現実にかかる事象について考えられることができているか。

〈解答例〉

問1 下線部①, ②を和訳しなさい。

下線部①

不安には「適応的」な側面も存在し、不安傾向のある人はより慎重に行動し、起こりうる危険を回避する行動をとりやすい。

下線部②

Norem と Cantor の研究は、一部の人が、起こりうる失敗に備え、失敗を回避するために努力する動機を高める目的で、状況に臨む前から過度に低い期待を設定することを明らかにした。

問2 波線③の内容を簡潔に説明しなさい (200字以内)。

否定的な思考や感情を持つことにより、他者への共感が高まったり、似たような否定的な状況が繰り返されないよう、予防に活かすことができる。また、一時的に抑うつ状態になることで休息をとり、無駄なストレスを避けながら、体力や精神力の回復を促すという可能性もある。さらに、防衛的悲観主義のように、先に最悪の状況を想定していれば高い期待を抱かずに済むだけでなく、あらかじめ失敗回避を心掛けた行動をとることもできるなど、自分自身を守るという利点があるため、必ずしもネガティブだとは言いきれない。

問3 (2) で回答した内容に関する自身の経験を簡単にまとめて述べなさい。

先の予定について常に否定的な事態になることを予想し、予備を作っておく・持参するな

ど、事前の準備を怠らないようにしている、など、問2の内容に沿って、自身にとって有用であることが述べられていれば正解。

〈出典情報〉

雑誌：Japanese Psychological Research 2013, Volume55(3), 203-215

著者名：J. Sasaki, S. Sakamoto, A. Moriwaki, K. Inoue, and K. Ugajin

タイトル：The recognized benefits of negative thinking/affect in depression and anxiety:  
Developing a scale

2

① (計 25 点)

〈解答例〉

学校における活動と知識の基準・目標は、科学的知識に啓発された各教科の体系性に関連すべきである(10点)。

デンマークとノルウェーの幼児教育枠組みは、ヴィゴツキーの理論的アプローチとよく整合し(7点)、子どもの価値観・思いやりの学習、日常経験や遊びを重視している(8点)。

〈出題の意図〉

本文を読み取り、Vygotsky の理論のそれぞれの概念の意味、相互の関係、学習・発達における役割を説明できるかどうかを評価することを意図しています。

② (計 25 点)

〈解答例〉

Vygotsky (1987) は、知識を「日常的知識」と「科学的知識」に区別している。日常的知識とは、家庭や地域社会など日常生活の中での経験や活動を通して獲得される知識であり、具体的で状況依存的な性質をもつ。一方、科学的知識は、学校教育において教科内容として体系的に教授・学習される知識であり、抽象性や体系性を特徴とする。両者は学習の場面や形成過程が異なっている点で区別される (12点)。

子どもが学校で学ぶ学術的知識を理解するためには、日常生活における経験が必要であると述べられている。Vygotsky の理論によれば、子どもの概念形成は既存の具体的経験を土台として進むため、日常的活動で形成された意味理解が、抽象的で体系的な科学的知識を理解する際の足場となる。そのため、日常経験は学校学習を可能にする前提条件として重要である (13点)。

〈出題の意図〉

Vygotsky の理論のそれぞれの概念の意味、相互の関係、学習・発達における役割を説明し、

抽象度の高い理論を説明可能な理解に落とし込み、その応用や実装を説明できるかを確認する狙いがあります。

〈出典情報〉

Hedegaard, Mariane; Eriksen Ødegaard, Elin.(2020) Children's Exploration and Cultural Formation (International Perspectives on Early Childhood Education and Development Book 29) (English Edition). Springer International Publishing. p.33

訳)

ヴィゴツキー（1987）は、日常的な知識と科学的知識の基準を区別している。日常知識は日常生活における学習と結びつき、科学的知識は学校における教科学習と結びつく。子どもが学校で習得を求められる学術的知識と関連付けるためには、日常活動からの経験が必要である。この区別から、保育における子どもの活動と能力獲得の目標・基準は、社会や地域コミュニティにおける様々な活動環境や慣行の伝統と関連付けるべきである。学校における活動と知識の基準・目標は、科学的知識に啓発された各教科の体系性に関連すべきである。デンマークとノルウェーの幼児教育枠組みは、ヴィゴツキーの理論的アプローチとよく整合し、子どもの価値観・思いやりの学習、日常経験や遊びを重視している。ヴィゴツキーの文化歴史的アプローチ（エルコニン、1999年；ヘデゴー、2009年、2014年；ヴィゴツキー、1987年、1998年）によれば、子どもの発達段階は現代西洋社会における様々な制度的実践（家庭、保育園、幼稚園、小学校、中学校）を反映する。したがって、理想的な学習形態は発達段階によって異なる。

愛知学院大学大学院心身科学研究科

臨床心理学コース（一般）試験問題

## 秋季入学試験

(2025年10月4日実施)

〈解答例および出題意図〉

心理学専攻では「知覚・認知」、「社会」、「発達」、「神経と生理」の各領域における基礎知識および臨床心理学領域における一般的な専門知識を問うため、Ⅰ,Ⅱでは選択問題を5問ずつ出題している。またⅢは論述形式とし5問中2問を選択して解答するよう指示している。なお各設問の出典および論述形式(設問Ⅲ 問題1~6)における出題意図の詳細は以下に記載した。

Ⅲ (以下、出題意図のみ)

問題1

本問は、不登校支援の「チーム学校」が果たす役割について、教員だけでなく多様な専門職(心理専門職を含む)、地域や行政を含めた社会全体との協働によって取り組む意義と役割についての理解を問う。

問題2

障害児本人だけでなくその家族にもさまざまなストレス・困難があり、心理的支援が必要である。障害児のきょうだいについても、親からの愛情の受け取りに関する問題、自尊心の形成の問題、いじめの問題、友人との遊び等の制約の問題、障害があるきょうだいの世話に関する問題等があり、将来的には親亡き後の問題もある。これらに対して、障害や支援制度に関する知識の提供、きょうだいの会等によるピアサポート、ストレス軽減のための心理支援等の必要性があるが、本設問では知識以上に共感的推察力と考察力を問う。

採点のポイント

- ・ 知的障害について理解している。
- ・ 障害児のきょうだいの心理的困難を推察できる。
- ・ 現時点だけでなく時間軸で考える視座がある。
- ・ 論理的に解答できている。

問題3

「ストローフ理論」をベースとして、3つの自我状態について理解を深める「構造分析」、二者間のやりとりを分析する「交流パターン分析」、こじれる人間関係のからくりについての理解を深める「ゲーム分析」、人生のシナリオ(脚本)について見つめ直す「脚本分析」について理解し、説明が出来ること。

問題4

各種精神疾患の基本的な知識と治療法について理解度および文章構成力を確認する。

【出典】 精神医療の知識と技法(医学書院)、カプラン臨床精神医学テキスト第3版(メ

ディカルサイエンスインターナショナル)

問題 5

学部で学んだ基礎的な知識を, 自己の将来像と結び付けてどれだけ具体的なものとして理解しているかを確認する

問題 6

多職種連携なかで求められる公認心理師の役割について理解したうえで、適切にアセスメントを行うためのそれぞれの問に正しく解答できているか。

## 春季入学試験

(2026年1月24日実施)

〈解答例および出題意図〉

心理学専攻では「知覚・認知」、「社会」、「発達」、「神経と生理」、「統計・測定」の各領域における基礎知識および臨床心理学領域における一般的な専門知識を問うため、Ⅰ、Ⅱでは選択問題を5問ずつ出題している。またⅢは論述形式とし5問中2問を選択して解答するよう指示している。なお各設問の出典および論述形式（設問Ⅲ 問題1~5）における出題意図の詳細は以下に記載した。

Ⅲ（以下、出題意図のみ）

問題1

公認心理師・臨床心理士の活躍の場であるスクールカウンセラーの制度的理解と学校という特殊性のある現場における多職種・多機関との連携のあり方に関する理解を問う。

問題2

各種精神疾患の基本的な知識と治療法について理解度および文章構成力を確認する

【出典】精神医療の知識と技法（医学書院）、カプラン臨床精神医学テキスト第3版（メディカルサイエンスインターナショナル）

問題3

子どもを対象とし、遊びを通じて行う心理療法である「遊戯療法」について、子どもにとって「遊び」の意味、実施場所や回数、遊戯室の玩具や雰囲気、対象となる児童の理解の上、アクスラインの自由遊び療法、レヴィの指示的遊び療法、カルフのサンドプレイ療法、クラインの人形療法などについての説明、さらに遊びの効果についての言及と説明を求める。

問題4

激甚災害が多発する中、本設問は、災害支援における心理職の役割について、単なる知識ではなく、被災者の立場に立った支援のあり方を自分の言葉で考えられているかを問うものである。

災害という極限状況の中で「支援とは何か」「心理職の存在する意義は何か」を考え、被災者に寄り添う姿勢について自身の言葉で言語化できているかを確認することを目的

としている。

#### 問題 5

公認心理師の基本業務の一つとしてあげられる概念に関する知識を確認する。また、概念を自身の将来像とどの程度結び付けて具体的に理解できているかを確認する。